

事業群評価調書(令和4年度実施)

基本戦略名	1-1 若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 スポーツ振興課	五貫 裕
施策名	8 いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現	事業群関係課(室)		
事業群名	⑥ スポーツに親しめる環境づくりによる地域スポーツの活性化	令和3年度事業費(千円)	※下記「2. 令和3年度取組実績」の事業費(R3実績)の合計額	11,554

1. 計画等概要

<p>(長崎県総合計画テェンジ&チャレェンジ2025 本文)</p> <p>スポーツを通じた県民の健康増進とまちの活力を創出するため、関係機関等と積極的に連携しながら、いつでも、どこでも、だれでも、気軽に楽しくスポーツに親しめる環境づくりを進め、生涯スポーツの推進に取り組めます。</p>		<p>(取組項目)</p> <p>i) 総合型地域スポーツクラブの育成支援 ii) 関係団体との連携によるスポーツイベントの開催、スポーツ・レクリエーション活動の普及・定着化 iii) 健康長寿対策事業と連携した総合型地域スポーツクラブの活用 iv) スポーツに親しめる環境を作り・支え・継続していくための人材育成支援</p>							
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	<p>(進捗状況の分析)</p> <p>令和2年度から2.8%増加し、令和3年度の目標を達成することができた。 20代と50代では、スポーツ実施率が減っているものの、30代・40代・60代・70代では増えており、特に40代では8.4%増加した。 男女別で見ると、男性は1.2%の増加、女性は4.5%の増加であった。 増加の理由としては、コロナ禍における健康意識の上昇や自宅でもスポーツができるオンライン配信の充実などが考えられる。 一方、週に1回以上スポーツを実施できなかった理由としては、令和2年度と同様に面倒くさいから(21.3%)、仕事や家事が忙しいから(14.3%)が多くなっている。 今後も引き続き、住民の日常的なスポーツ活動の場となる総合型地域スポーツクラブの拡大充実や長崎県民総スポーツ祭等のスポーツ活動の機会の充実に取り組んでいく。</p>
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	目標値①	47.2%	48.9%	50.6%	52.3%	54.0%	54.0% (R7)	
		実績値②	45.5% (R2)	48.3%					
		達成率②/①	102%						順調

	R2実績	R3実績	増減
全体	45.5%	48.3%	2.8%
20代	46.4%	41.7%	-4.7%
30代	37.9%	41.0%	3.1%
40代	32.3%	40.7%	8.4%
50代	44.7%	42.8%	-1.9%
60代	52.7%	55.6%	2.9%
70代	62.0%	65.2%	3.2%

	R2実績	R3実績	増減
全体	45.5%	48.3%	2.8%
男性	50.3%	51.5%	1.2%
女性	41.0%	45.5%	4.5%

2. 令和3年度取組実績(令和4年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要 令和3年度事業の実施状況 (令和4年度新規・補正事業は事業内容)	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和3年度事業の成果等	
				R2実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		R2目標	R2実績	達成率		
				R3実績								R3目標
				R4計画	事業実施の根拠法令等			R4目標				
事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業	他の評価 対象事業 (公共、研究等)	事業対象								
所管課(室)名												
取組項目 i ii iii iv	○	1	地域スポーツ活性化推進事業費	11,373	11,373	10,961	総合型地域スポーツクラブの設置・育成に向けた市町や関係団体への働きかけを県スポーツ協会と連携して行うとともに、クラブの自立的な運営を図るため、クラブの現状や課題把握のための巡回訪問を実施した。また、クラブの認知度向上を図るため、県内32クラブを掲載したパンフレットの作成・配布を行ったほか、V・ファーレン長崎と連携してフットサル交流会を開催し、クラブのPRを行った。更に市町担当者のクラブに対する認識を深めるための研修会を開催した。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ながさき県民総スポーツ祭の実施種目数、参加人数ともに目標値より減少しているが、前年度からは大きく回復した。	【活動指標】	65	37	56%	●事業の成果 ・総合型クラブ設置に向けた働きかけを行った結果、未設置である香岐市において、総合型クラブ設立に向けた取組が始まった。担当者研修会には、11市町の担当者、他、クラブからも10名の参加があり、川棚町におけるクラブ所有のバスを活用した運動&買い物支援事業など有益な情報提供を行うことができた。 ・多くの県民が参加できる総合的なスポーツ大会として、「ながさき県民総スポーツ祭」の開催など各種事業の実施により生涯スポーツの振興に寄与した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・成人の週1回以上のスポーツ実施率向上のため、総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けた支援や認知度向上に努めた。 ・「ながさき県民総スポーツ祭」の実施により、スポーツを行う機会を提供した。
				11,554	11,554	10,906		ながさき県民総スポーツ祭での実施種目数(種目)	65	44	67%	
				12,189	12,189	11,522		65				
			スポーツ基本法第4.10.22.31.34.35条			【成果指標】		12,000	5,792	48%		
H18-				ながさき県民総スポーツ祭参加者数(人)	12,000	6,683	55%					
スポーツ振興課	○	—	—	市町、県民	12,000							

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 総合型地域スポーツクラブの育成支援	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>総合型地域スポーツクラブや市町などを巡回訪問する担当者を配置しており、地域スポーツ・コミュニティの拠点となる総合型地域スポーツクラブへの支援体制強化を図っている。 県スポーツ協会や専門家とも連携して、クラブや市町への巡回訪問・相談助言などクラブの自立的な運営に向けた支援を行っているが、指導者や運営後継者の確保、コロナ禍における会員数減少(会員数の推移:H30 6,318人、R1 5,316人、R2 4,670人、R3 4,682人)といった課題がある他、総合型クラブが無い市もある。また、総合型地域スポーツクラブの知名度が非常に低いことも課題である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>令和4年度から登録・認証制度の運用が開始されるにあたり、県スポーツ協会内に中間支援組織を整備し、支援体制の再構築を図る。県スポーツ協会と連携し、登録クラブに対する助成制度等、登録することによるメリットを創出することで、登録促進を図り、各クラブの自立的な運営やクラブに対する安心感や信頼性の醸成を目指す。また、令和3年度に作成したパンフレットを活用し、総合型地域スポーツクラブの知名度向上にも努めていく。</p>
ii 関係団体との連携によるスポーツイベントの開催、スポーツ・レクリエーション活動の普及・定着化	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>毎年11月を「県民スポーツ月間」と位置づけ、そのメインイベントとして「ながさき県民総スポーツ祭」を11月中旬に開催している。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ながさき県民総スポーツ祭の実施種目数、参加人数ともに目標値より減少しているが、前年度からは大きく回復した。 子どもから高齢者まで、誰もが参加できる総合的な大会を開催し、広く県民がスポーツの楽しさを体験したり実践する機会を充実させるとともに、PR強化に努め県民のスポーツ参加意欲の喚起を促す必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>県民スポーツ月間やながさき県民総スポーツ祭のPRを強化することで、スポーツ実施率が低い子育て世代が親子や家族で参加できるような体験イベントへ誘導するなど、県民がスポーツに取り組む意識の向上を図る。</p>

<p>iii 健康長寿対策事業と連携した総合型地域スポーツクラブの活用</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 「健康長寿日本一の長崎県づくり推進事業」において、令和3年度新規事業として「地域で活動するスポーツ指導者育成講座」を長崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に委託して実施した。健康づくりや介護予防に特化したスポーツ指導者を育成するための講座で、一期7名、二期6名の計13名が受講した。これから総合型クラブの設立を予定している方が受講された他、受講後に総合型クラブに運動指導補助やパートとして携わっている方、民間スポーツクラブで介護予防教室を開設された方もおられる。今後はより専門的な技術や知識を習得するための講座や実際の活動に繋げるための更なるフォローアップが必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 令和3年度はコロナ禍でも実施できるよう、また県内全域から受講できるよう全10回の基礎編のオンライン講座を2クール開催した。令和4年度は基礎編(全10回)のオンライン講座に加え、技術と知識の向上及び実際の地域での活動につなげるために特別編として全3回の対面講座を開催する。</p>
<p>iv スポーツに親しめる環境を作り・支え・継続していくための人材育成支援</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題 市町担当者の総合型地域スポーツクラブに対する認識を深めるための研修会を開催し、11市町の担当者的他、クラブからも10名の参加があり、有益な情報提供を行うことができた。また、県内の総合型クラブの活動状況等をお知らせする広報誌を年12回発行し、各クラブや市町等に配布することで、総合型クラブの認知度向上やクラブの活動充実への支援を行った。令和4年度に運用が開始される総合型クラブの登録・認証制度において、登録基準となっている公認スポーツ指導者資格を有するスポーツ指導者の確保・養成が必要である。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性 登録・認証制度初年度であることから、県スポーツ協会や県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携し、市町担当者も含め、総合型クラブ関係者に対する情報提供を確実にし、登録クラブが一つでも多くなるよう、登録申請や資格取得へのサポートを行っていく。</p>

4. 令和4年度見直し内容及び令和5年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	令和4年度事業の実施にあたり見直した内容		令和5年度事業の実施に向けた方向性		
			事務事業名	※令和4年度の新たな取組は「R4新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			事業期間 所管課(室)名				
i ii iii iv	○	1	地域スポーツ活性化推進事業費 H18- スポーツ振興課	R4新規 登録・認証制度の運用開始に伴い、スポーツ振興くじ助成金(toto)を活用した中間支援組織に係る業務を行う者の配置及び総合型地域スポーツクラブの拡大充実を目的とした県から県スポーツ協会への新しい補助金を創設した。	③	県内の総合型地域スポーツクラブが、地域住民にとって更に魅力あるクラブとなるよう、その支援体制の強化及び効率化を図ることを目的として、窓口や巡回訪問の実施方法などの見直しについて県スポーツ協会と協議していく。	改善

注:「2. 令和3年度取組実績」に記載している事業のうち、令和3年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができていないか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点